

年次	明治十六年		年次	明治十六年	
	計	女男		計	女男
傳染病	一〇、四七二	一〇、四七二	流行病	五、九二二	五、九二二
發育及營養的病	三、八八五	三、八八五	神經系諸病	二、七六五	二、七六五
皮膚病	二、六九九	二、六九九	血行器諸病	三、〇四三	三、〇四三
骨及關節病	二、二九四	二、二九四	呼吸器諸病	二、八三三	二、八三三
血行器病	九、六一	九、六一	消化器諸病	二、九三二	二、九三二
泌尿及生殖器病	一、〇九七	一、〇九七	泌尿生殖器諸病	一、六二二	一、六二二
外傷及死性	一、〇九七	一、〇九七	小兒病	二、〇八五	二、〇八五
中毒症	一、〇九七	一、〇九七	皮膚病外科的附微毒諸病	一、七六八	一、七六八
原因不詳	一、〇九七	一、〇九七	死變及原因不詳	二、二八八	二、二八八
總計	二、二八八	二、二八八	合計	二、二八八	二、二八八
呼吸器病	九、九七九	九、九七九			
內肺病	一、七七一	一、七七一			

累年中或ハ一縣若クハ一縣ノ内何郡ノ調ナキモノ又ハ半期若クハ一二月月間ノ調ヲ闕クモノ等アリト雖也前年鑑ニ詳載セルヲ以テ今茲ニ贅セズ以下年齢別モ亦然リ又明治十八年ハ肺病ノ調ヲ闕ク

明治十六年六月病症別ノ改定アリシヲ以テ累年ノ比較ヲ掲グルヲ得ズ故ニ其以前ニ係ルモノハ舊病症別ニ據リ之ヲ左ニ示ス

第二百十二

全國死亡八年齡別

明治十九年

病 症	一 年	二 年	三 年	四 年	五 年	六 年	七 年	八 年	九 年	十 年	十一 年	十二 年	十三 年	十四 年	十五 年	十六 年	十七 年	十八 年	十九 年	二十 年	二十一 年	二十二 年	二十三 年	二十四 年	二十五 年	二十六 年	二十七 年	二十八 年	二十九 年	三十 年	三十一 年	三十二年	三十三年	三十四 年	三十五年	三十六 年	三十七 年	三十八 年	三十九 年	四十 年	四十一 年	四十二年	四十三 年	四十四 年	四十五年	四十六 年	四十七 年	四十八 年	四十九 年	五十 年	五十一 年	五十二年	五十三年	五十四 年	五十五年	五十六 年	五十七 年	五十八 年	五十九 年	六十 年	六十一 年	六十二年	六十三年	六十 四年	六十五年	六十六 年	六十七 年	六十八 年	六十九 年	七十 年	七十一 年	七十二 年	七十三 年	七十四 年	七十五 年	七十六 年	七十七 年	七十八 年	七十九 年	八十 年	八十一 年	八十二年	八十三年	八十四 年	八十五年	八十六 年	八十七 年	八十八 年	八十九 年	九十 年	九十一 年	九十二年	九十三 年	九十四 年	九十五年	九十六 年	九十七 年	九十八 年	九十九 年	一百 年
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------

從來死亡八ノ年齡別ハ左ニ掲グル累年ノ如ク調査セシガ明治十九年ニ至リ更ニ其生年

ニ就キ之ヲ區別ス故ニ表中年齡ノ一年ハ明治十九年生二年ハ同十八年生又六年至十年ハ明治十四年生ヨリ同十年生マデノ死亡人ヲ云フ以下之ニ同シ
 表中群馬、茨城、山梨、宮城、青森ノ五縣ハ全年ノ事實又岡山、宮崎ノ二縣ハ前半ノ事實舊式ニ據リシヲ以テ之ヲ除ク
 明治十八年以前ハ同十九年ト年齡ノ區別ヲ異ニスルヲ以テ各年齡ニ就キ正シク比較ス可ラカズト雖モ姑ク茲ニ之ヲ掲グ

年次	明治十八年		同十七年	同十六年	同十五年	同十四年	同十三年	同十二年	同十一年
	計	男女							
未滿	七六〇、二二九	〇、七二〇	七三〇、〇〇七	七三〇、〇〇七	七三〇、〇〇七	七三〇、〇〇七	七三〇、〇〇七	七三〇、〇〇七	七三〇、〇〇七
一年以上	六五、四四五	二、六九三	六五、四四五	六五、四四五	六五、四四五	六五、四四五	六五、四四五	六五、四四五	六五、四四五
二年以上	四一、五〇六	六、六六〇	四一、五〇六	四一、五〇六	四一、五〇六	四一、五〇六	四一、五〇六	四一、五〇六	四一、五〇六
三年以上	三三、二九七	四、二七二	三三、二九七	三三、二九七	三三、二九七	三三、二九七	三三、二九七	三三、二九七	三三、二九七
四年以上	四四、四六〇	二、六四〇	四四、四六〇	四四、四六〇	四四、四六〇	四四、四六〇	四四、四六〇	四四、四六〇	四四、四六〇
五年以上	九七、七五七	二、八五七	九七、七五七	九七、七五七	九七、七五七	九七、七五七	九七、七五七	九七、七五七	九七、七五七
十年以上	四九、三五一	一、五八八	四九、三五一	四九、三五一	四九、三五一	四九、三五一	四九、三五一	四九、三五一	四九、三五一
十五年以上	四一、三二六	一、四七五	四一、三二六	四一、三二六	四一、三二六	四一、三二六	四一、三二六	四一、三二六	四一、三二六
二十年以上	九〇、五七七	三、三六四	九〇、五七七	九〇、五七七	九〇、五七七	九〇、五七七	九〇、五七七	九〇、五七七	九〇、五七七
三十年以上	四六、七〇五	一、六二九	四六、七〇五	四六、七〇五	四六、七〇五	四六、七〇五	四六、七〇五	四六、七〇五	四六、七〇五
四十年以上	三九、一九〇	一、四九一	三九、一九〇	三九、一九〇	三九、一九〇	三九、一九〇	三九、一九〇	三九、一九〇	三九、一九〇
五十年以上	八五、八九五	三、〇四八	八五、八九五	八五、八九五	八五、八九五	八五、八九五	八五、八九五	八五、八九五	八五、八九五
六十年以上	四七、二九七	一、七五五	四七、二九七	四七、二九七	四七、二九七	四七、二九七	四七、二九七	四七、二九七	四七、二九七
七十年以上	三九、四二八	一、五三七	三九、四二八	三九、四二八	三九、四二八	三九、四二八	三九、四二八	三九、四二八	三九、四二八
八十年以上	八六、七二五	三、三三三	八六、七二五	八六、七二五	八六、七二五	八六、七二五	八六、七二五	八六、七二五	八六、七二五
合計	二〇、三五一	〇、八八七	二〇、三五一	二〇、三五一	二〇、三五一	二〇、三五一	二〇、三五一	二〇、三五一	二〇、三五一

左ノ比例ハ一縣ノ内何郡又ハ半期若クハ一二ヶ月間ノ調ヲ闕クモノ、如キモ人口ヲ除去セザルヲ以テ稍妥當ヲ得ズト雖モ姑ク參考ノ爲メ之ヲ附載ス但一年間全縣ノ調査ヲ闕クモノハ其縣ノ人口ヲ除去ス

例比亡死付 = 千 一 口 人

年次	明治十九年	年次	明治十九年
未滿	二、八一	一年	二、八一
一年以上	二、二九	二年	二、二九
二年以上	〇、八一	三年	〇、八一
三年以上	〇、六一	四年	〇、六一
四年以上	〇、四四	五年	〇、四四
五年以上	〇、二二	十年	〇、二二
十年以上	〇、一三	十五年	〇、一三
十五年以上	〇、〇九	二十年	〇、〇九
二十年以上	〇、〇七	三十年	〇、〇七
三十年以上	〇、〇五	四十年	〇、〇五
四十年以上	〇、〇四	五十年	〇、〇四
五十年以上	〇、〇三	六十年	〇、〇三
六十年以上	〇、〇二	七十年	〇、〇二
七十年以上	〇、〇一	八十年	〇、〇一
合計	二、四一	合計	二、四一

第二百十三 府縣及北海道人口一萬ニ付死亡人病症別ノ比例 明治十九年

府縣及北海道	傳染性病	發育及營養的筋病	皮膚及骨節病	關血行病	神經系及呼吸器病	消化器病	泌尿及生殖器變	外變性死	中毒症	原因不詳	合計	呼吸器病ノ内肺病
京都	九三、七三	二七、六二	一、六一	〇、一七	五、九二	六五、五二	四二、八五	六三、二一	二、八九	〇、〇八	〇、三二	二、九二、三七
東都	四〇、五九	四一、四八	五、八〇	四、四九	二、八四	四四、三七	四三、四〇	五四、三五	一、六一	四、七八	〇、〇五	一、七、七八
府縣及北海道	一、〇五	〇、五九	〇、四八	〇、三三	〇、三三	〇、三三	〇、三三	〇、三三	〇、三三	〇、三三	〇、三三	一、〇、二九